

# 市民の声

## 子育て支援に思う

新旭町 H.K さん

毎日、どこかで子育てに関わる痛ましい事件が後を絶たない昨今、どんなに環境が厳しくても、高島市の未来を育むのもまた私たち一人一人の責任でもあります。地域と行政が一体化した支援ができないものでしょうか？一例として、乳幼児を抱えるお母さんには、訪問支援をする等、まず子育てをするお母さん方の“心”が元気になる支援。垣根を低くした子育て支援を是非お願いいたします。

今津町 井上さん

高島市が発足して間もなく2年になるうとしております。

自治体は大きくなりましたが、それとは逆に議員の数が大幅に減り、次期改選には定数20名との事、議員の減少に伴い市政との距離が大変遠くなりました。

市政と市民をつなぐパイプ役として、また、住民の代弁者として、市政が市民にとってより近くてわかりやすくなるよう今後益々研鑽を積み重ね活躍されますことを祈ります。

## 少子化対策について

安曇川町 A.T さん

少子、高齢化の進む昨今、地元の小学校でも年々児童数が減少し続け、近い将来合併するのではないかと保護者から懸念の声を耳にします。高齢化社会について、福祉や介護の面ではいろいろと対策を考えておられるようですが、少子化対策として市が取り組んでおられるものとして、どのような対策があるのか教えていただけますでしょうか。

## 健康福祉部よりの答え

安心して子育てができるように、妊娠時期から関わりを持ち、出産後の訪問や乳児検診等により支援体制を整えています。また、子育て支援センターによる相談や情報提供、保育園での一時保育の充実など、子育てに係る保護者負担の軽減に努めています。また、「子育て応援ブック」を作成し配付しております。市のホームページからもダウンロードできますのでご利用ください。



## 編集後記

安倍新内閣が発足した。「美しい国、日本をめざす」の言葉で戦後生まれの首相の誕生である。折りしも本市の議会開会中の最中であつた。思い起こせば小泉総理は「郵政民営化はおれの信念だ」と言つて国民の心を高ぶらせ世論の支持を常にマスメディアを通じて上げ、長期政権を持続された。新知事になられた嘉田さんは「もつたいない」の誰にもわかりやすい言葉で県民の心に深く入り込まれて支持を得られた記憶は新しい。アメリカ16代大統領リンカーンの「人民の人民による人民のための政治」この言葉は今世紀でも生きつづけている。言葉は話術だけではなく真実を追究するものであつてほしい。

(柴原)